

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	632 墓地等経営許可事業									
予算科目	01-040107-15 自然環境・有害鳥獣対策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課 環境管理係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	墓地、埋葬等に関する法律 つくば市墓地等の経営の許可等に関する条例					SDGs				

事業の概要

対象	宗教法人、許可墓地の経営者・管理者									
目的	墓地等の経営許可及び墓地管理者等の変更届受理の事務を行う。墓地の適正な管理を行う。									
概要 (取組内容)	霊園墓地、寺院墓地、共同墓地等の新規・拡張・廃止の許可を行う。 墓地経営者・管理者変更届等の受理を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	15	7	8	8	8	
	決算額	(千円)	7	7	8	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7	7	8	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,050	681	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.30	0.10	0.10	0.10	0.10
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	墓地等の新規・拡張・廃止の許可件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	1.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	墓地経営者及び管理者変更届出受理件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	14.0	17.0	17.0	8.0	19.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		墓地台帳の電子化を検討中である。
成果		台帳の電子化にあたり、課題等を整理した。
課題	業務	課で保有する墓地台帳は県から移管を受けた紙ベースの古いものであり、破損がみられるため、電子化を検討する必要がある。
	組織、予算等	電子化の方法によっては、予算、人員の検討が必要である。
改善目標		引き続き、電子化に向け、準備を進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	634 高度処理型合併浄化槽補助事業									
予算科目	01-040107-16 合併浄化槽設置に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課 環境保全係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	循環型社会形成推進交付金					事業期間	毎年度			
根拠法令等	浄化槽法					SDGs	06安全な水とトイレを世界中に			

事業の概要

対象	市内在住で下水道認可区域外及び専用住宅・併用住宅									
目的	一般家庭に対する高度処理型合併処理浄化槽の普及促進を図り、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。									
概要 (取組内容)	高度処理型合併処理浄化槽の設置費の補助を実施する。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	57,585	57,435	56,216	53,328	52,833	
	決算額	(千円)	52,254	40,268	30,821	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	15,499	15,193	11,498	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	36,755	25,075	19,323	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,467	5,085	5,151	4,835	4,835	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.80	0.70	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	130.00	130.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	補助金交付基数 (基)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	82.0	78.0	98.0	87.0	72.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		高度処理型合併処理浄化槽設置補助制度について、ホームページ等で周知した。
成果		高度処理型合併処理浄化槽を普及することができ、生活排水による公共水域の水質汚濁の防止を図ることができた。
課題	業務	単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に転換することで、河川等の水質に与える影響を減らすことができるため、転換促進を図る。
	組織、予算等	国・県からの安定的な補助金の確保
改善目標		広報紙等で補助制度等を周知し、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進を図る。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	635 水質保全事業									
予算科目	01-040107-17 水質保全に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課 環境保全係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	06安全な水とトイレを世界中に			

事業の概要

対象	霞ヶ浦流域・牛久沼流域の河川									
目的	霞ヶ浦及び牛久沼に流入する河川等の水質汚濁の防止及び河川環境の保全を図ることを目的とする。									
概要 (取組内容)	つくば市水質監視員による月2回以上の河川等の巡視活動を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,860	2,814	2,844	2,844	2,844	
	決算額	(千円)	1,953	2,457	2,004	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,953	2,457	2,004	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,417	1,411	2,121	2,121	2,121	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.20	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	水質監視活動回数 (回)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	288.0	288.0	360.0	360.0	360.0	360.0
	実績	496.0	501.0	409.0	445.0	444.0	0.0
	指標の概要	水質監視員による河川巡回の延べ回数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		桜川河川敷に花の種子を撒くなどのつくば市水質浄化対策推進協議会主催のイベントを複数回実施し、環境美化と併せて、水質監視員活動に興味を持ってもらえるようにした。
成果		水質監視員による月1回以上の河川巡視報告（444回の見込）の情報をもとに関連部署と連携を取りながら、河川状況の把握、ごみの回収など迅速な対応を行うことができた。また、つくば市水質浄化対策推進協議会と連携し、10月に谷田川、3月に桜川でごみ拾いを行うことで、河川環境の向上に努めた。
課題	業務	特になし
	組織、予算等	高齢化に伴う水質監視員の減少、流域ごとの監視員の偏りが課題である。
改善目標		広報つくばを活用し、水質監視員が25名になるように、人員確保に努める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	636 生活排水路浄化施設の維持管理事業									
予算科目	01-040107-18 水質浄化施設の維持管理に要する経費					担当部課	生活環境部環境保全課			
市長公約						係名	環境保全係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	06安全な水とトイレを世界中に			

事業の概要

対象	佐・上菅間地区									
目的	生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止する。									
概要 (取組内容)	浄化施設の年間維持管理を行うことにより、施設の機能を十分に発揮させる。 沈砂・土砂・浮遊物質の除去 スクリーン・ポンプ類の点検(毎月)									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	9,627	7,693	7,763	7,720	7,720	
	決算額	(千円)	7,902	6,180	5,986	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,902	6,180	5,986	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2,734	681	2,072	2,072	2,072	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.40	0.10	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		老朽化等により修繕が必要になった設備については修繕工事を行い、施設の適正な運転を図った。
成果		地域から排出される生活雑排水による河川等の水質汚濁を防止した。
課題	業務	施設の老朽化による修繕費等の増加
	組織、予算等	修繕費の確保
改善目標		下水道が整備された地域について、下水道主管課と連携し転換促進を図る。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	1	事務事業の廃止を検討する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	637 簡易水道・小規模水道事業									
予算科目	01-040107-19 簡易水道事務に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課			
市長公約							環境保全係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	水道法					SDGs	06安全な水とトイレを世界中に			

事業の概要

対象	つくば市共同給水組合連絡協議会加盟の給水組合									
目的	非公営水道が適正に維持管理され、継続的に安心して安全な水の提供がなされるように支援を行うこと。									
概要 (取組内容)	指導・助言及び補助等の支援を行う。 水質検査：上水道未整備地区1/4、上水道整備済地区1/10 上水道未整備地区のみ補助 塩素消毒液：1本(20L)あたり900円。上限100本 配管修繕：修繕工事費の1/10。上限10万円 圧力タンク：交換工事費の1/2。上限10万円 井戸掘削：井戸の掘削1mにつき1千円。上限10万円 水中ポンプ：交換工事費の1/10。上限7.5万円 滅菌機：交換工事費の1/2。上限5万円 その他施設修繕：修繕工事費の1/2。上限5万円									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	7,630	7,604	7,459	7,320	7,320	
	決算額	(千円)	6,172	6,626	5,797	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	6,172	6,626	5,797	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	1,367	2,166	2,218	2,194	2,194	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.20	0.30	0.30	0.30	0.30
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	50.00	60.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一) 無	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	補助申請件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	242.0	242.0	242.0	242.0	242.0	242.0
	実績	225.0	214.0	212.0	215.0	212.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		施設の老朽化対策として、補助項目を細分化し、各組合施設の事情に合った補助金を交付することにより、施設・設備の修繕や更新が図られた。
成果		各給水組合に維持管理に関する補助金制度の活用を促し、交付することにより、円滑な簡易水道事業の運営を図ることができた。水質検査結果から、基準値超過した各組合に対し、管理指導を実施し改善に努めた。今後も、施設の維持管理や水質管理の知識の向上を目指し、指導を継続していく。
課題	業務	老朽化により給水等に支障がきたしている組合や、水道施設を適切に管理するための水道施設台帳が未整備の組合があるため、保健所等と協力しながら、適正な施設運営等指導を行う。 上水道が整備されている地区の上水道への転換を推進する。
	組織、予算等	給水組合施設の実情に即した補助金の拡充、緊急時における給水組合間の連携体制の構築
改善目標		施設・設備補助等の活用の促進や、研修会の開催等により、適正な施設運営指導を行う。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	639 空き地等の適正管理啓発・指導事業									
予算科目	01-040107-20 除草事業に要する経費					担当部課	生活環境部環境保全課			
市長公約						係名	環境保全係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等						つくば市空き地除草条例	SDGs	11住み続けられるまちづくりを		

事業の概要

対象	市内雑草繁茂地の空き地所有者
目的	空き地及びその周辺地域の環境を保全し、市民の安全及び健康の維持に寄与することを目的とする。
概要 (取組内容)	雑草の繁茂した空き地の適正管理について指導、助言を行う。 所有者等が自ら所有する土地について適正な管理ができない場合、所有者の申し出により業者を斡旋し、雑草除去を行う。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	1,507	1,541	1,543	1,543	1,543	
	決算額	(千円)	1,310	1,401	1,349	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,310	1,401	1,349	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,201	7,055	4,981	5,005	5,005	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.00	0.70	0.70	0.70
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	100.00	60.00	70.00	70.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	雑草繁茂地改善率 (%)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	75.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0
	実績	86.0	67.0	80.5	75.4	64.4	0.0
	指標の概要	苦情件数に対する除草実施件数の割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		過去何年にもわたって通知文を送り続けている空き地所有者の中で、関東圏内に住んでいる方を対象として直接訪問を行い、改善を促すことができた。
成果		継続的に通知文を送付したことにより、668筆に対して430筆の改善が見られたため雑草繁茂改善率は64.4%となった。
課題	業務	今年度改善に至らなかった空き地の所有者への交渉 2回刈の推奨、促進
	組織、予算等	特になし
改善目標		複数回通知を送付、緊急性の高い空き地に関しては優先的に所有者宅訪問を行い早期解決に向けて尽力する。また、所有者不明土地に関しても、年々増加傾向にあるため、固定資産税台帳を活用し、新所有者の調査を今後も継続する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	ー

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	641 上水道整備補助事業									
予算科目	01-040107-22 水道事業に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課 環境保全係			
市長公約										
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（任意）			
						事業体制	職員のみ			
個別計画	特になし					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs				

事業の概要

対象	水道総務課
目的	旧筑南水道企業団が施行した水道整備事業で、当時借り入れた企業債借り入れ分相当額を一般会計から補助する。
概要 (取組内容)	旧筑南水道企業団が施行した水道整備事業で、当時借り入れた企業債借り入れ分相当額分を一般会計から補助する。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	495, 065	100, 361	247, 288	207, 225	207, 225	
	決算額	(千円)	461, 227	100, 361	235, 343	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	461, 227	100, 361	235, 343	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	2, 050	681	691	691	691	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0. 30	0. 10	0. 10	0. 10	0. 10
		正職員時間外勤務	(時間)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実 績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		特になし
成果		上水道事業の健全な財政運営に寄与できた。 ・統合前水道に係る統合前の簡易水道の建設改良に関する出資金6,629,303円、補助金594,771円 ・新規整備事業分出資金 200,000,000円 ・繰出金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金分）28,118,590円
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標		特になし

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	642 公害対策推進事業									
予算科目	01-040108-11 公害対策に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課			
市長公約							公害対策係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	騒音規制法、振動規制法、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法、大気汚染防止法、悪臭防止法等					SDGs	06安全な水とトイレを世界中に			
							11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	事業場、市民									
目的	市民の健康被害防止及び生活環境の保全を図る。									
概要 (取組内容)	公害法令に基づく届出受理・審査事務、立入検査・指導等を行う。 法定受託事務である常時監視、本市の政策及び施策に資する一般環境調査（地下水調査等） 公害紛争処理法に基づく苦情処理（相談、調査、指導、助言）を行う。※ただし、廃棄物関係を除く。 公害防止に係る「公害防止協定」、「公害防止確認書」、「実験安全委員会」等の運用、調整を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	18,000	11,967	12,612	12,367	22,367	
	決算額	(千円)	19,422	9,866	9,930	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	19,246	9,638	9,719	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	176	228	211	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	17,963	19,376	18,735	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	2.50	2.50	2.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	361.25	961.43	605.06	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	公害苦情処理（解決）率（ % ）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	78.2	78.4	81.8	79.3	82.0	0.0
	指標の概要	寄せられた公害苦情（騒音、振動、悪臭等）数に対する解決した割合					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		みどりの地区における臭気問題について、排出源である工場の一部で脱臭装置の設置が確認できた。また、臭気指数規制の導入に向けて、市内の飲食店舗等における臭気指数の分析を行った。
成果		公害法令の施行及び公害防止組織の形成・推進事業を適切に実施した。また、環境調査結果等を市民に公表することにより、市内環境の状況を周知し、環境問題・環境汚染に対する啓発、意識高揚を図ることができた。また、みどりの地区をはじめとして、市内で発生する公害苦情件数が減少した。
課題	業務	現状の臭気規制手法（物質濃度規制）には限界があり、臭気指数規制の導入の検討が引き続き必要である。
	組織、予算等	公害関係法令（水質汚濁防止法、土壤汚染対策法、悪臭防止法等）については、化学的知識を有する専門職員の養成、雇用が必須である。現在、公害対策係においては、正規職員３名、会計年度任用職員３名の体制であり、知識技術の承継と、人員不足解決が急務である。
改善目標		臭気の規制手法について、令和７年度に臭気指数への切り替えを行うことを目標とし、具体的な検討を引き続き行う。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	－	法令等により市の実施が定められている。
優先度	－	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	643 放射線対策事業									
予算科目	01-040108-12 放射線対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境保全課			
市長公約						係名	公害対策係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	つくば市除染実施計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	放射性物質汚染対処措置法					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民、学校									
目的	市域の空間放射線量の低減化、放射線測定及び広報活動による市民の安全・安心確保を目的とする。									
概要 (取組内容)	主に除染事業、空間放射線量率の測定事業等を行う。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,855	851	911	875	875	
	決算額	(千円)	2,388	596	789	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	2,388	596	789	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	3,417	3,405	3,454	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.50	0.50	0.50	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	
企画・立案、計画	
実行	
評価、検証	

指標の推移

1	指標名	空間放射線量率 (μ Sv/h)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	目標値 R1年度(0.23)	R2年度(0.23)	R3年度(0.23)	R4年度(0.23)	R5年度(0.23)	
		実績 R1年度(-)	R2年度(-)	R3年度(-)	R4年度(-)	R5年度(-)	

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		汚染状況重点調査地域の指定解除について、検討を行った。
成果		学校等の公共施設における空間放射線量が低下し、安定していることを再確認した。
課題	業務	汚染状況重点調査地域の指定解除 学校等に埋設保管されている除染作業で生じた除去土壌の処分
	組織、予算等	特になし
改善目標		関係機関と連携し、汚染状況重点調査地域の指定解除について協議を継続する。 関係機関と連携し、除去土壌の処分方法について協議を継続する。

評価

市民ニーズ	2	今後は減少が見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	—

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	001 動物愛護関連事業									
予算科目	01-040107-14 動物愛護に要する経費					担当部課 係名	生活環境部環境保全課 環境管理係			
市長公約	60									
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画						事業期間	毎年度			
根拠法令等	狂犬病予防法					SDGs				

事業の概要

対象	市民、市内で犬を所有し飼育している者									
目的	狂犬病蔓延の防止及び撲滅、公衆衛生の向上及び公共の福祉の増進、殺処分や苦情等件数の減少									
概要 (取組内容)	・ 茨城県獣医師会の協力を得て、市内のべ46箇所にて狂犬病予防注射を実施 ・ 犬の登録、注射済票の発行 ・ 犬猫の避妊去勢手術、マイクロチップ装着を行う市民に対し補助金を交付 ・ 犬猫の飼い方に関する啓発 ・ 動物愛護団体と連携した譲渡会の実施									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	5,546	6,416	6,284	6,508	6,508	
	決算額	(千円)	4,995	5,161	5,316	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	4,995	5,161	5,316	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,689	7,932	8,035	8,035	8,035	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.10	1.10	1.10	1.10
		正職員時間外勤務	(時間)	180.00	180.00	180.00	180.00	180.00
		会計年度任用職員有無	(一) 有	有	有	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	-
企画・立案、計画	-
実行	-
評価、検証	-

指標の推移

1	指標名	狂犬病予防注射実施頭数 (頭)					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0	2,000.0
	実績	1,713.0	668.0	1,397.0	1,471.0	1,545.0	0.0
	指標の概要	狂犬病予防を集団接種にて実施した頭数					

2	指標名	補助金交付数（避妊・去勢）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	600.0	600.0	600.0	600.0	600.0	600.0
	実績	607.0	602.0	606.0	634.0	624.0	0.0
	指標の概要	申請により、犬猫の避妊去勢手術を行う市民に対し補助金を交付した件数					
3	指標名	補助金交付数（マイクロチップ装着）（件）					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	500.0	300.0	300.0
	実績	0.0	0.0	0.0	39.0	48.0	0.0
	指標の概要	申請により、犬猫へのマイクロチップ装着を行う市民に対し補助金を交付した件数					
4	指標名	（件）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	（件）					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		猫の無秩序な繁殖への対応として、飼い主のいない猫への不妊手術の支援について検討する。 また、市の施設の敷地における動物愛護団体主催の猫譲渡会の実施を検討する。
成果		・市内全域において狂犬病予防集合注射を実施し、予防接種率の向上が図られた。 ・犬及び猫の無秩序な繁殖を抑制し、周囲に対する危害及び迷惑防止を図ることができた。 ・犬猫へのマイクロチップ装着に対する補助金制度を運用し、装着を推進した。 ・動物愛護団体と協力して庁舎敷地内で猫の譲渡会を実施し、保護猫の里親探しを推進した。
課題	業務	猫の無秩序な繁殖のさらなる抑制
	組織、予算等	－
改善目標		猫の無秩序な繁殖のさらなる抑制方法の検討を進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取り組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	－

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	003 自然環境・鳥獣保護管理事業（旧：鳥獣保護及び有害鳥獣被害防止対策事業）									
予算科目	01-040107-15 自然環境・有害鳥獣対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境保全課			
市長公約						係名	環境管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類	自治事務（義務）			
						事業体制	一部委託			
個別計画	茨城県第13次鳥獣保護管理事業計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	鳥獣保護管理法 自然公園法					SDGs	14海の豊かさを守ろう			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民、市内に住宅や農地等を所有する者									
目的	野生鳥獣の保護、狩猟に係る銃器等の適正使用による市民生活の安全確保、有害鳥獣による生活被害等の防止。									
概要 (取組内容)	鳥獣保護区及び特定猟具使用禁止区域（銃猟）の指定に係る連絡調整、及び申請を行う。 野生鳥獣の保護に関すること。貴重な動植物の保全に関すること。外来生物の防除に関すること。 鳥獣捕獲許可に関すること。									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	567	4,387	2,732	2,732	2,732	
	決算額	(千円)	1,777	2,983	2,273	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,777	2,983	2,273	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	8,639	12,699	3,891	3,454	3,454	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.20	1.80	0.50	0.50	0.50
		正職員時間外勤務	(時間)	180.00	180.00	180.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	—
企画・立案、計画	—
実行	—
評価、検証	—

指標の推移

1	指標名	鳥獣捕獲許可件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	11.0	25.0	16.0	12.0	13.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		—
成果		有害捕獲許可申請 1 3 件を適切に処理した。 特定猟具使用禁止区域(銃)の更新にかかる指定調書を県に 1 件提出した。
課題	業務	外来種の防除等への対応が今後増えていくことが予想されるが、十分に対応できる体制が整っていない。
	組織、予算等	外来種の防除等の現地対応を実施するには、人員と予算の確保が必要である。
改善目標		外来種の防除に関する情報収集を進める。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	135 生物多様性地域戦略策定事業									
予算科目	01-040107-15 自然環境・有害鳥獣対策に要する経費					担当部課	生活環境部環境保全課			
市長公約						係名	環境管理係			
戦略プラン						新規・継続	継続			
						事業分類				
						事業体制	一部委託			
個別計画	第3次つくば市環境基本計画					事業期間	期間限定複数年度			
根拠法令等	生物多様性基本法					SDGs	14海の豊かさを守ろう			
							15陸の豊かさを守ろう			

事業の概要

対象	市民、市内事業者、市への来訪者									
目的	将来にわたって自然の恵みを享受し、持続可能な社会を推進するため生物多様性に関する施策を戦略的かつ計画的に進めていく方針を示す生物多様性地域戦略を策定する。									
概要 (取組内容)	生物多様性基本法第 1 3 条第 1 項の規定及び第 3 次つくば市環境基本計画に基づき、生物多様性地域戦略を策定する。 戦略では、中・長期の目標・方針を定め、市民、事業者、市が役割を実践、共有しながら、豊かな自然を守り、未来へ引き継いでいくことを目指す。 ○市域の動植物の調査 ○アンケートによる市民意識調査 ○学識経験者、市民からなる懇話会を開催し、広く意見等を聴き、戦略に反映させていく。 ○人と自然に関わる様々な課題の整理と取組の検討									

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	29,309	5,564	0	
	決算額	(千円)	0	0	4,410	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	4,410	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	9,852	9,852	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	1.30	1.30	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	360.00	360.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	策定懇話会、市民意識調査（アンケート）、ワークショップ
企画・立案、計画	－
実行	－
評価、検証	－

指標の推移

1	指標名	策定懇話会開催数 ()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	3.0
	実績	0.0	0.0	0.0	3.0	3.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		—
成果		学識者、市民で構成される策定懇話会を3回開催し、多様な意見を取り入れながら策定を進めることができた。市民意見等の把握のため生物多様性に関する市民アンケート調査、ワークショップを実施した。生物多様性の現況把握のため、市内16か所にて動植物調査を進めた。
課題	業務	実効性の高い戦略の策定には、生物多様性の保全等について、様々な主体が連携し、取り組んでいくことが重要であるとの共通認識をもつことが必要である。
	組織、予算等	戦略策定後の取組を踏まえた、組織、予算を検討していく必要がある。
改善目標		市民にわかりやすく実効性の高い戦略を策定する。

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	4	市民生活への影響等を鑑みて、優先的に取組むことが必要と判断される。

方向性

方向性	継続
理由	

令和 5年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	640 環境美化推進事業									
予算科目	01-040107-21 環境美化推進に要する経費					担当部課	生活環境部環境保全課			
市長公約						係名	環境保全係			
戦略プラン	IV-4	3	1	きれいなまちづくり推進事業の実施			新規・継続	継続		
							事業分類	自治事務（任意）		
							事業体制	一部委託		
個別計画	つくば市きれいなまちづくり行動計画					事業期間	毎年度			
根拠法令等	特になし					SDGs	11住み続けられるまちづくりを			

事業の概要

対象	市民、事業者、市内で環境美化活動をする者
目的	快適な市民生活の確保に寄与する。
概要 (取組内容)	環境美化活動（ごみ拾い等）を行う個人・団体に対し、清掃用具（ごみ袋・軍手・火ばさみ等）の支給、傷害保険の加入等の支援を行うことで、自発的な環境美化活動を推進する。 市と事業者が計画する環境美化活動へ市民が参加することで、環境美化意識の啓発を図る。 以上のような市・市民・事業の連携した環境美化活動により、快適な市民生活の確保を目指す。

コストの推移

項目			令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
事業費	予算額	(千円)	2,052	2,082	3,131	8,216	2,959	
	決算額	(千円)	1,688	1,930	3,066	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	1,688	1,930	3,066	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	5,028	4,453	4,387	4,726	4,508	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.70	0.60	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	100.00	150.00	100.00	240.00	150.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	つくば市きれいなまちづくりアンケート実施（5月、8月）
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	ボランティア活動者数（人）					成果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	14,000.0	10,000.0	10,250.0	10,500.0	10,750.0	11,000.0
	実績	9,799.0	4,455.0	9,848.0	12,860.0	13,321.0	0.0
	指標の概要	（個別施策IV-4-③環境美化活動の推進）美化活動事前連絡票により申請された環境美化ボランティア、職員環境美化ボランティアの活動者数					

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応		環境美化ボランティア活動者数増加のため、広報紙や旬会回覧、SNS等で広く周知したほか、新たな取り組みとしてつくば市版ごみ拾いWEBサイト(つくばdeマチピカプロジェクト)を開設し、市内清掃活動の交流を促すことで、活動者数の増加を図った。
成果		環境美化ボランティア活動参加延べ人数について、目標値を大きく上回ることができた。 きれいなまちづくり実行委員会の企画会議を毎月1回開催し、会員団体によるごみ拾い活動（5回）、落書き消し活動（2回）、植樹イベントの開催（1回）を実施した。 新たな取り組みとして、つくば市版ごみ拾いWEBサイトの開設および継続活動者への表彰を行った。
課題	業務	今後も、環境美化ボランティア活動人数の増加を図る。
	組織、予算等	特になし
改善目標		環境美化ボランティア活動について、より広く周知するための方法を検討し、また活動者のモチベーションの維持を図ることで、今後も活動者数の増加を目指す。

評価

市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	5	年度当初の計画を上回る進捗で事業を実施することができた。
市の関与	5	市が直接担うべき事業である。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	拡大・拡充
理由	つくば市きれいなまちづくり行動計画は5年ごとに計画改定を行っており、令和6年度に次期計画（第6次行動計画）を策定するため、専門的知識を持った事業者と契約するための委託料を拡充する。